

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：衛生費

項：医務費

目：医務費

事業名 感染症寄附講座設置事業費 <地域医療介護総合確保基金>

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療整備課 医事係 電話番号：058-272-1111 (内3239)

E-mail：c11229@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 35,000 千円 (前年度予算額： 35,000 千円)

<財源内訳>

| 区 分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
|-----|--------|------------|------------|------------|------------|-----|--------|-----|------------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使用料 手数料 | 財 産 収 入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般 財 源 |
| 前年度 | 35,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 35,000 | 0 | 0 |
| 要求額 | 35,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 35,000 | 0 | 0 |
| 決定額 | | | | | | | | | |

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

新型コロナウイルス感染症の発生と感染の広がりにより、感染制御・感染症治療ができる医療従事者のニーズが高まっている。また、ポストコロナにおいても、海外との交流が再開されれば、新型コロナウイルスと同様に新たな感染症災害が広がるリスクがある。

しかしながら、国内に感染症に関する臨床講座を持つ大学は少なく、人材育成が不十分であるため、人材不足が課題である。

そのため、県内で質の高い感染症教育及び人材育成を行うための寄附講座を設置し、県内の感染症教育及び人材育成により、感染症災害時においても対応可能な医療体制の構築を目指す。

(2) 事業内容

岐阜大学に感染症寄附講座を設置

(設置先：大学院医学系研究科)

寄附講座名：感染症寄附講座

体制：教授(総括(感染症科)) 1名、助教(救急科、薬科) 2名

期間：令和3年度～令和5年度 ⇒ 6年延長(令和6年度～11年度)

年間寄附総額：35,000千円

寄附の用途：人件費、研究費、旅費など講座運営に必要な経費

具体的研究・活動内容：

ア 県内感染症・感染症災害専門人材の育成

イ 地域連携による県内感染制御体制の強化

ウ 感染症学・感染制御学・感染症災害に関する学術的研究の実施

(3) 県負担・補助率の考え方

県内医療従事者等の確保・養成のため必要である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|------|--------|-----------------|
| 寄附金 | 35,000 | 岐阜大学に感染症寄付講座を設置 |
| 合計 | 35,000 | |

決定額の考え方

| |
|--|
| |
|--|

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「岐阜県感染症対策基本条例」

第4条第1項、第3項 県の責務

第12条第1項第5号 病床の確保その他の医療提供体制の整備

(2) 国・他県の状況

鳥取大学 臨床感染症学講座（鳥取県）

福井大学 感染症学講座（福井県） が実施している。

(3) 後年度の財政負担

人材育成の観点から、一定の成果を得るまで継続する必要がある。

(4) 事業主体及びその妥当性

県が実施することが妥当

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

感染症専門医、感染管理看護師等の育成につなぎ、感染症に係る医療提供体制の充実を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前 (R) | R4年度 実績 | R5年度 目標 | R6年度 目標 | 終期目標 (R11) | 達成率 |
|-------------------|--------------|------------|------------|------------|---------------|------|
| | | | | | | |
| ①医・薬学生に対する講義の参加者数 | | 2,669 | 2,000 | 2,000 | 2,000 | 100% |
| ②県内医療従事者向け研修の受講者数 | | 2,707 | 2,000 | 2,000 | 2,000 | 100% |

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

| | |
|-------|---|
| 令和3年度 | <p>医学系学生や医療従事者に対する講演・セミナーの開催、医療機関の診療支援、感染症災害研究会の立ち上げ等により、感染症・感染症災害専門人材の育成や地域連携による県内の感染制御体制の強化を図った。</p> <p>指標① 目標：400 実績：220 達成率：55%</p> <p>指標② 目標：300 実績：900 達成率：100%</p> |
| 令和4年度 | <p>医学系学生や医療従事者に対する講演・セミナーの開催、医療機関の診療支援、感染症患者の搬送訓練等により、感染症・感染症災害専門人材の育成や地域連携による県内の感染制御体制の強化を図った。</p> <p>指標① 目標：400 実績：2,669 達成率：100%</p> <p>指標② 目標：300 実績：2,707 達成率：100%</p> |
| 令和5年度 | <p>令和7年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %</p> |

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

| | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない | |
| (評価) 3 | 感染症に対応できる医師、薬剤師等の確保につながるため、必要性が高い。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない | |
| (評価) 3 | 感染症・感染症災害専門人材の育成や地域連携による県内の感染制御体制の強化が図られている。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている | |
| (評価) 1 | 救急科、感染症科、薬科が連携して人材育成を行うため効率化が図られている。 |

(今後の課題)

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 |
|--|

(次年度の方向性)

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 優秀な人材の確保・育成のため、一定期間の事業継続が必要 |
|---|

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

| | |
|----------------------------|-------|
| 組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課 | 【〇〇課】 |
| 組み合わせる理由 や期待する効果 など | |